

新技術の提案(様式2-1)

H28C-1-5

作成日 平成28年 6月 9日

分野	1. 土木	工種	1. 共通			
技術の名称	マルチスプレッド工法		NETIS 番号	KK-010049-V		
副題(商標名等)	法面保護工		登録(申請)年月日	平成25年4月10日		
応募技術条件 チェック	次のいずれかの項目に適合(該当項目の口をチェック下さい)					
	<input checked="" type="checkbox"/>	県内に本社のある建設業者等が開発したもの。				
	<input type="checkbox"/>	県内に本社のある建設業者等(協会、組合等を含む)が中心となって開発したもの				
効果	右番号から選択	1 コストの縮減	6 施工性の向上	分類	右番号から選択	
	1, 5	2 安全性向上	7 その他		1	
		3 品質の向上	効果を選択した理由を 下記概要や特徴に含めて 記入してください			1 工法
		4 工期の短縮				2 材料
		5 環境				3 機械
				4 情報		
				5 その他		
開発者 (提案者)	会社名	株式会社タック				
	住所	松戸市根本122-2	TEL	047-318-5200		
問合せ先	会社名	株式会社タック				
	担当部署	技術部				
	氏名	小林 悟				
	住所	静岡県藤枝市大洲2丁目22-9				
	TEL	054-636-1792	FAX	054-636-1793		
	URL	<a href="http://www.tac428.com">http://www.tac428.com</a>				
	E-mail	<a href="mailto:info@tac428.com">info@tac428.com</a>				
概要	<p>工事現場から発生する伐採材や伐根材を一次破碎した木チップを利用し、切土法面・盛土法面において緑化を行う、自然環境に配慮した工法。工種は2種類の緑化に加え、盛土法面においては木チップのみの撒布。また森林内に撒布することで簡易的な森林整備ができる林間マルチングと多種にわたり、この全ての工種が同一規格の木チップで施工できる。</p>					
特徴	<p>専用プラントを必要としないため省スペースでの施工が可能。撒布機械は車両搭載型のため小回りがきき、木チップのみの撒布、法面のみならず平地や林間へのマルチングにも対応。 撒布機は大型ブローを使用している為、植樹後のマルチングにおいても苗木を痛めることなく作業が可能。</p>					
施工方法	<p>φ2インチスクリーンで一次破碎した木チップ(L=50mm~70mm)を木チップ撒布車(マルチスプレッダー)に投入して撒布。副資材や種子を混合させることで緑化も可能。</p>					
施工・材料単価(従来との比較)	(経済調査会『土木施工単価'15-1号』掲載・千葉単価)					
	☆ 従来:厚層基材吹付工法	t=50mm		¥4,250/㎡		
	☆ マルチスプレッド工法(緑化マルチング)	t=100mm		¥3,940/㎡		
適用条件・範囲	<p>☆ 最大法面勾配 切土・S=1:1.0(諸条件アリ) 盛土・S=1:1.5          ☆ 最大直高 H=20m程度          ☆ 最大ホース延長 L=60m程度</p>					
施工・使用後の環境への影響	<p>☆ 発生場所による再利用のため、外部搬出する車両が不要になる。          ☆ 現地の植物性資源を利用するため、環境にやさしい。</p>					
施工・使用上の留意点	<p>☆ マルチスプレッダーが進入できない場所での施工は不可。          ☆ φ2インチスクリーンの一次破碎材(L=50mm~70mm)より小さいチップでは十分な効果が得られず、大きいチップでは撒布が不可。</p>					
実績状況(相手先、件数など)	<p>☆ 国土交通省 167 件          ☆ 地方自治体 209 件          ☆ 民間 30 件</p>					
その他(特許番号、各種適合基準、グリーン購入法、建設技術審査証明書・GISなど)						

現場で発生した伐採材及び伐根材



2インチスクリーンによる現場内破碎  
場外搬出をせず、コスト縮減



2インチ破碎材(L=50mm~70mm)  
で下記の様々な施工が可能

◎法面マルチング(木チップのみ)



◎緑化マルチング  
(基盤材・種子 混合)



☆マルチスプレッダー



車両搭載型機械とホースの連結で、施工範囲が拡大

◎林間マルチング



◎ウッドチップフィルター



※ 同一規格の木チップで様々な工種を活用し「コスト縮減」と「ゼロ・エミッション」を実現